



県水受水市町の
一般家庭上水道料金
(平成20年4月1日現在)

口径13mm 20m³使用時の
1カ月の水道料金(税込み)

御嵩町	3,969円
坂祝町	3,920円
富加町	3,874円
川辺町	3,837円
瑞浪市	3,727円
土岐市	3,727円
美濃加茂市	3,675円
恵那市	3,541円
可児市	3,339円
多治見市	3,024円
中津川市 (旧中津川市)	2,719円



▲地震の際、水を確保するために
作動する緊急遮断弁

水道料金は、各都道府県や市町村によって違いがあります。水道料金に違いがあるのは、各市町村によって、川から取水するところもあれば、井戸から取水するところもあり、また、ダムを造りそこから取水するところもあります。それぞれの浄水方法・過程にも違いが出てきます。また、わたしたちの市のように県営の浄水場から水を買っている市もあります。このような地域ごとの事情によって、水道料金にも違いが出てきます。

市では、消費税を除き平成6年4月から、現在の料金体系を維持しています。

市の水道料金は、基本料金と従量料金(使用した料金の合計額)になります。1トン当たり175円、税込みで183・75円で計算されています。2リットルのペットボトルでは、1本当たり約0・37円になります。

左表は、県水受水市町の水道料金です。一般家庭で使用されている13ミリのメータ口径で、1カ月に20立米(m³)を使用した場合の水道料金になります。



気になる水道料金について

今後の水道事業

大地震の際、ライフラインの早期復旧が求められます。地震に強い水道にするため、配水池などの耐震補強、耐震水道管の布設、老朽水道管の布設替えなど水道施設の耐震化を進めています。配水池では、大地震の際、配水管が破断して大量の水が流出した場合、応急的に水を確保するために配水管を遮断する緊急遮断弁を設置しています。また、新潟県中越沖地震の際には、柏崎市に職員を派遣し、水道の復旧活動を実際に行っていました。

このように、大地震に備えてライフラインの機能を強化し、緊急時の応急給水設備を整備していきます。

6月1日から7日までは、**水道週間**です。

今年、『ただいまア〜 蛇口ひねって 水ごくり』をスローガンに広報活動し、水道について皆さんに深く知っていただきたいと考えています。
水は大切な資源です。湯水時には、節水にご協力をお願いします。



▲通水が開始された、新しい森山浄水場

新しい浄水場の浄水方法は、これまでの方法の砂ろ過までの工程で、先に塩素消毒を追加し、その後、さらに膜ろ過と膜ろ過と膜ろ過の小さな穴の開いた膜に取水した飛騨川の水を通過させることで、水の中に含まれるこの穴よりも大きい物質を取り除き、塩素消毒をしても死滅しない細菌類などを完全に除去します。

新しくなった浄水場
新しい浄水場が森山町4丁目に完成し、4月4日に供給を開始しました。

浄水場の施設は、阪神淡路大震災クラスの大地震が起きても影響のないよう耐震構造で建設され、水の浄水方法もより安全で安定した水質を確保できる方法に変更しました。

森山浄水場は、下米田地区全域および太田・古井地区の一部地域に供給しています。一日当たり約5、400トン(市民プール50メートル約4杯強)の水を飛騨川より取水し、皆さんの毎日の生活用水とするため、ろ過や殺菌消毒を行っています。



▲膜ろ過処理装置。耐塩素性病原生物を完全除去します

浄水場の浄水方法
これまでの浄水場での浄水方法は、ポリ塩化アルミニウムという薬品を、取水した水と混ぜ合わせ、砂や不純物を塊にして沈殿させ、その上澄み水を砂でろ過し、さらにきれいな水にし、塩素消毒を行い水道水にしてみました。

新しい浄水方法により、きれいで安心・安全な水を供給できるようになり、洪水時の濁った水でも安定した水質が保てるようになります。

浄水場の施設には、浄水方法の重要な役割を果たす膜ろ過処理装置が4基あるほか、飛騨川の水と処理水の品質を調べる水質監視装置、浄水場と安定した水を供給するための配水タンク(配水池)の状態を監視する中央監視装置を備えており総合的に水を管理しています。また、浄水する過程で排出される泥や砂については、脱水機設備により完全に脱水され、その泥や砂はリサイクルするなど有効利用を計画しています。

浄水場の屋根には、太陽光発電設備も設置しており、二酸化炭素の排出抑制をしています。



- ①屋根に設置した太陽光パネル。(財)新エネルギー財団の助成金で設置しました
- ②飛騨川の水と処理水の水質を調べる水質監視装置。常に水の状態を監視しています
- ③処理する過程で排出される汚泥を脱水する脱水機設備。完全に水分を取り除きます



▲浄水場と各配水池を監視する中央監視装置